

条例項目候補素案（第 4 回全体会グループ別ワークショップまとめ）

前回ワークショップで議論した、

条例を作ることによって、一宮市がこうなる。

条例に対して、自分としてこう関わりたい、行政がこう変わってほしい。

条例のなかに、こういった項目を入れてみたい。

から拾い出したタックメモを、関連すると思われる項目にまとめました。これらの意見を全部条例に反映させるのではなく、条例の骨格を作るために、皆さんがどのようなことを考えているのかを理解する資料としてご理解下さい。

1) 前文などで表現することが妥当と思われること

○まちのイメージ

- ・老人子供にやさしい町になる事
- ・老人が安心できるようなまちづくり
- ・住んでよかったと思える一宮市。
- ・誰もが、生きていてよかったと思える一宮市。
- ・活力ある一宮市になる。
- ・一宮市が活性化される。
- ・市民が暮らしやすいまち

○人権尊重

- ・個人の意見が尊重される。

○市と県・国の関係

- ・県・国等に対して意見を言える市

○歴史・文化

- ・一宮市のシンボルとして真清田神社の歴史・由緒を前文に書き入れる

2) 条例本文中の項目に直接関係すると思われるもの

○市民の責務

- ・事業、イベント、財政、自分等の責任として
- ・人に求めるばかりではなく、人に務める人になる
- ・住民の自覚を持つ 「私、そんなこと知らんわ」という人をなくす
- ・市民同士が助け合う事
- ・まちづくりの主体者は市民。

○市民参加

- ・一人一人を大切に住民主体のまちづくり
- ・市民がまちづくりの主体者
- ・市議員だけでなく、市民も市政に直接意見が言える制度。

○市民投票

- ・市民投票。議会可決後に投票実施ではなく、市民の 1/10 の請求で即実施。

○町内会

- ・町内会を真の意味での住民が協議できる仕組み（世代を超えたネットワーク形成）にする。
- ・皆が参加するために、町内会などの小さなコミュニティに関わる。

○NPO・ボランティアグループ

- ・“まちづくりグループ”を住民自治協議会（伊賀市の制度）のようなところが支援するシステム（例えば、農家と消費者が一緒に地産地消を研究しているグループに、場所の確保・先進地視察旅費の支給等）
- ・市民活動に参加する市民が増えるように、意義ある活動に財政支援。
- ・気軽に参加できる、わかりやすいボランティア組織づくりが進む。

○議会

- ・議員歳費（給料）は日当制に
- ・市議会の議会便りのような議会と市民の間をつなぐものを発行する

○行政

- ・市民サービスの維持・向上
- ・行政は苦情に正しく応えてほしい。

○財政

- ・財政規律についての具体的規制（or 目標）を入れる 財政力指数、公債比率など
- ・赤字体質を改善する（借金を減らす）
- ・「地方の時代」になり財政収支（費用対効果）を評価する条文を入れる
- ・財政の健全化
- ・借金を減らす工夫。

○選挙

- ・市長選挙の投票率は、50%を超えなければ無効とする（公選法があって無理か）

3) 条例の役割・性格・運用などに関わると思われるもの

- ・他の市の条例を横並びに真似るのではなく、総合計画を鏡にして作成する
- ・一宮市総合計画を踏まえて必要な条例が作られていくように細則を作ってほしい
- ・既条例の見直し期限化
- ・自治基本条例を守らせるための条項（強制条項）を入れる
- ・個別条例が基本条例を守っているかどうかチェックするという条項
- ・官民一体でこの条例でまちづくりを。
- ・地産地消等の細かいことも含めたい。
- ・他の条例と横並びでない条例。

4) 個別の事業・活動であるため、条例に盛り込むには工夫が必要と思われるもの

○学校？ 経済振興？

- ・学校教育で起業の仕方を教える

○環境

- ・特に「木曽川沿岸でのゴミゼロ化」を取り上げたい
- ・「キソガワ フユユスリカ対策を強化、持続する」件を明文化したい
- ・生ゴミを家でリサイクル
- ・地産地消等による循環型社会の形成が進む。

○まちづくり

- ・地域通貨による福祉・文化向上

○公共交通

- ・公共交通機関（iバス、ふれあいバス等）が充実する。